



第一礼拝次第

メッセージ：渡真利彦文牧師

司会：鈴木秀明執事 ピアノ：渡慶次さやか姉
オルガン：平田千佳子姉 プレイズ：郭永東牧師
受付・案内：鈴木静子姉 上里敦子姉
ライブ配信：中地さくら姉

前奏			会衆
頌栄	540		〃
主の祈り			会衆
プレイズ	「主の癒し受け取ろう」 「花も」		会衆
聖書朗読	Ⅱサムエル記6:1~16		司会
祈禱	(旧約聖書p488)		〃
賛美	新生586		会衆
メッセージ	「怒るダビデ」、 踊るダビデ」		牧師
祈禱			〃
賛美	529		会衆
献金	渡真利千佳子姉 仲尾次誠兄 鈴木静子姉 仲村真澄姉		司会
報告			会衆
頌栄	新生672b		牧師
祝禱			〃

<巻頭言>

「正しい知識」

牧師 渡真利彦文

聖書の中にイエス様に出会った長血を患った女性の信仰が描かれています。「・・・イエスのことを聞いて、群衆の中に紛れ込み、後ろからイエスの服に触れた・・・」(マルコ5章25-30節)

この記事の中でわかることは、信仰には正しい知識が必要であるということです。27節も見ると、「イエスのことを聞いて」と書いてあります。彼女はイエス様というお方についてのよい知らせを耳にしたのです。イエス様は神の御子であり、全能者であり、憐れみ深いお方であられるという、福音を聞いたのです。「実に、信仰は聞くことにより、しかも、キリストの言葉を聞くことによつて始まるのです」(ローマ10章17節)とあります。真実の信仰には、まず福音に関する正しい知識が必要です。信仰には感情的側面もありますが、知識としての側面はある意味でそれ以上に重要です。というのは、感情はふらふらと揺るぎやすいものですが、真理に関する知識は感情のように不安定ではないからです。

キリスト教信仰には確かに理性を超えた面はありますが、理性には反してはいないので、知識を大事にすることは重要なのです。「神は創造主である」「義人は一人もいない」「キリストは私たちの罪のために十字架で呪いを受けた」などの知識が、私たちの罪と死からの救いのために不可欠です。

ですから、私たちはたゆまず、何度も、自分自身にも、家族や友人にも、福音の知識の種を蒔くことに努めましょう。



第二礼拝次第

メッセージ・アドリアン・アルセ師

司会：ヒビキル・アルセ兄 奏楽：渡慶次さやか姉
Come and see. Let's praise the Lord.



ファミリー礼拝

メッセージ：仲宗根みどり姉

司会：渡真利千佳子姉 奏楽：比嘉利恵子執事
聖書：マルコによる福音書 14:66-72
メッセージ：「鶏の声を聞いた時に」